



千葉支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について 提案を受ける！その①

【会社からの提案内容】

■実施内容

「木更津統括センター」を現業機関として新設する。

■実施箇所

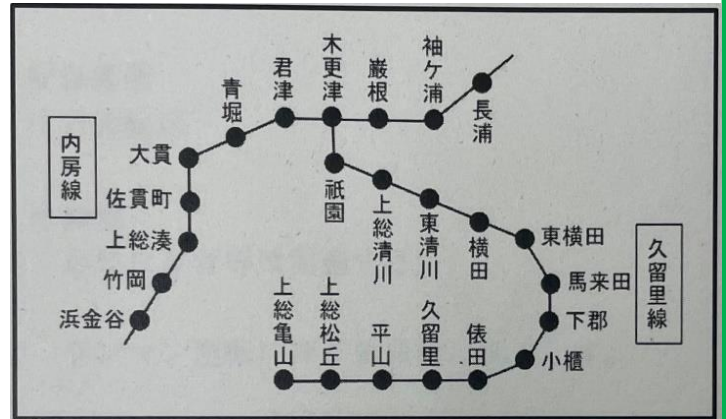
- (1)木更津駅(木更津地区指導センターを含む)
- (2)君津駅
- (3)久留里駅(横田駅を含む)
- (4)木更津運輸区

■実施時期

2022年ダイヤ改正(予定)

■その他

- (1)木更津統括センターは木更津地区に所属し、木更津統括センター所長は木更津地区駅長を兼ねる。
- (2)木更津地区内の各箇所とはこれまでどおり連携を行う。
- (3)木更津統括センターの体制については、別途示す。
- (4)統括センターの発足に向け、必要な準備を始める。



図：木更津統括センターが管理するエリア

【主な議論の特徴点】

・施策の目的は？

社会の急激な変化を踏まえ、「変革2027」を目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、系統を越えた新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていく必要があるため、これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現していく。

・このエリアにて実施する根拠は？

特情として木更津地区一体として様々な施策を実施してきた。営業と運輸の業務は手伝いなどで融合しているようになっているが、組織(職場)としては融合していない。**本施策によって出来なかったものが出来るようになるというよりは、組織が一つになることで、其々の箇所の調整がいらなくなったり決定が速くなる。**

・エリアの境界の根拠は？

従来より木更津駅が長浦駅まで、君津駅が浜金谷駅まで管理している。**このエリア内の社員数が200名程度であることや、行政との付き合いも関係している。**木更津地区としては残り、五井駅と館山駅もあるので、木更津地区指導センターも残していく。

その②へ